

館報
いりやま

平成26年11月1日現在
世帯数 894戸
男 1,036人
女 1,116人
総人口 2,152人

第87回入山辺地区大運動会

2年ぶりの開催、橋倉町会12連覇達成!

10月19日、昨年中止となつた鬱憤を晴らすかのような素晴らしい天候に恵まれました。熱い戦いの中にも、親睦を深め和気あいあいと楽しんでいる様子が見られました。

大正8年に初回が開催され、戦争やその他の事情により中止となつた年もありましたが、地域に根差した行事として脈々と受け継がれ、今年度は87回目の開催となりました。

選手の確保が困難な町会も少なくありません。90回、そして100回と永く継続しているためには、競技種目の見直し、複数町会で合同チームを編成する等あらゆる工夫をこらしつつ、今後の開催のあり方を模索する時期が到来しているのではないのでしょうか。

結果は次のとおりです。

しかしながら時代は大きく変化し、超少子高齢型人口減少社会に突入した昨今では、

- 優勝 橋倉
- 準優勝 三反田・奈良尾
- 第3位 東桐原
- 第4位 大和合・牛立・三城
- 第5位 西桐原
- 第6位 原・厩所



運動会

山辺小六年 中澤 睦

運動会は、音楽会と同じで全校で行う一大イベントです。今年は九月二十日に行われ、天気も良かったです。

全学年のかけっこ、一年から四年までのつな引き、一年のダンス、玉入れ、三年の山辺ソラン、四年の竹引き、五年、六年のぼうたおし、きば戦、組体操など各学年それぞれ力を出し合わせ競技しました。特にきば戦、組体操は、仲間と一しよに立ち向かい協力、信頼をもって競いあいました。

前日には四年、五年、六年が二時間かけて準備しました。今年はずっとしたハプニングがありました。万国旗をあげるロープがひっぱりすぎが原因で、かつ車からはずれ、かつ車にかけられなく応急処置で、かつ車から6m下で結ぶ事になってしまいました。ぼくは組体操の時、ひっつかからないか心配になりましたが無事成功できました。全校のみんなが力をあわせました。楽しい半日になりました。一年は初めてで、六年は最後の運動会でちよつときびしいです。



第38回入山辺地区文化祭が盛大に開催されました!

【同時開催の町会対抗ゲートボール大会の結果】
優勝：橋倉 準優勝：東桐原 第3位：西桐原



郷土の先人

桐原眞節(西桐原)

里山辺の金井病院の金井清志先生から、將軍家奥医師(將軍侍医)、東京大学医学部附属病院初代病院長であった桐原眞節(桐原玄海) 花岡眞節の寄稿がありましたので、以下に紹介します。

信濃国筑摩郡里山辺村藤井(現松本市里山辺藤井)にて、父「花岡吉次郎」(小笠原將監の家臣)の次男として出生、安政二年(1855)十七歳で江戸へ。同郷(現松本市入山辺西桐原)の先輩で幕府漢方系奥医師である「桐原鳳卿」(桐原城主桐原大内蔵真智の子孫)に学び又漢方医の大家で種痘所設立メンバー林洞海、適塾出身の大村益次郎、オランダ医学者坪井信道などに蘭学と西洋医学を学んだ。その後(二十二歳)桐原鳳卿の養子となる。
万延元年(1860)幕府医官松本良順に従い長崎へ行き、長崎伝習所と養生所(病院)でオランダ海軍医師ポンペとその高弟である松本良順より最新の西洋医学の知識と技術を学んだ。長崎でのこの教育は高く評価されそれを求めて全国から英才が集まった。

オランダ・ドイツ・ロシア・英語などの外国語と共に系統的西洋医学の研究が活発であった。「松本良順」「佐藤尚中」「司馬凌海」「長与専齊」「桐原玄海(眞節)」「佐々木東洋」など明治維新後の「洋方医学」の興隆発展に貢献した人々を輩出した。

慶応元年(1865)松本良順は江戸帰参を命ぜられ江戸医学所の頭取兼將軍家茂の侍医となった。桐原玄海は江



戸医学所の教授となる。

慶応三年(1867)將軍慶喜は大政奉還し王政復古なる維新後の「医学所」や医政の変化は甚だしく東京大学医学部が発足するまでの経緯は省略する。

桐原玄海は「東京医学所」の教授につき、東大医学部の前身である「大学東校」の教授に就任した。明治十年四月二日東京大学の設立と共に「東京大学医学部教授」なる。明治十五年九月十八日第一病院(東京大学本郷附属病院)

の初代院長に就任した。この年桐原姓から生家の籍に復し「花岡眞節」と名乗る。

任期途中の明治十七年十月十七日病を得て没す。享年四十七歳。その死は大変惜しまれ千有余人の会葬者があった。

谷中林光寺境内に頌徳碑が建てられている。



第57回松本市市民体育大会 秋季大会の結果

地区対抗競技5種目で争われ、入山辺地区は35地区中20位という結果でした。

軟式野球では、決勝戦こそ敗れましたが、ブロック準優勝と大いに健闘していただきました。

選手の皆さん、応援に来て下さった皆さん大変お疲れ様でした。